

陳 情 文 書 表

平 2 5 陳 情 第 5 号	平成 2 5 年 2 月 2 6 日 受 理
件 名	「秦野市なでしこ会館条例」廃止後の代替措置についての陳情
陳 情 者	秦野市栄町 2 - 3 「なでしこ会館」の継続利用を求める会 代表者 菅原 明
陳 情 の 原 文	
<p>陳情趣旨</p> <p>私たちがなでしこ会館の閉鎖を知ったのは、昨年(平成25年)の8月でした。廃止の理由を知るために、秦野市公共施設白書、新はだの行革推進プラン、秦野市公共施設再配置計画等を検討しました。しかし、これらの文書でなでしこ会館の廃止の理由として挙げられている、①使用者数の減少、②使用率の低さ、③管理運営費に占める使用料収入の割合の低さなどは、これらの文書に附属している統計に照らしても、根拠を欠くものであり、昨年9月7日付けで、市議会に、なでしこ会館を貸室としての継続利用ができるように求める内容の陳情を提出しました。この陳情は、なでしこ会館条例の廃止に反対するものではありませんでしたが、不当なことに、条例の廃止に反対することと同一の趣旨であるとして、みなし不採択とされました。また、昨年9月19日付けで、同様の疑問を市長に要望として提出しました。市長からは昨年11月16日付けで回答がありましたが、その内容は納得できるものではありませんでした。</p> <p>市議会において、なでしこ会館条例の廃止を審査した中で、代替措置の具体化を求める意見が多くあり、市は、これらの要望には前向きに対応を取ると表明していました。秦野市公共施設再配置計画では、なでしこ会館の廃止に当たり、農協による貸館機能存続の支援を検討することが明示されています。また、なでしこ会館の機能を補完するものの中に、はだのこども館と南公民館が示されています。</p> <p>市議会においてなでしこ会館条例の廃止が可決された後に、私たちは、市の公表文書及び市議会での審査における市の回答に含まれている、なでしこ会館廃止後の代替措置の実現を求める要望を昨年12月17日付けで市長に提出しました。それは、①農協による貸館機能の存続を実現するための農協との協議、②秦野駅近くに代替施設の建設を検討すること、③は</p>	

だのこども館の一般市民による利用を実現するように求めることです。

市長から、本年2月21日付けで、要望に対する回答がありました。この回答に対する私たちの見解は次のとおりです。

①農協が貸館業務を継続することについては「引き続きお願いをしている」とだけ述べられ、話し合いの経過と結果、市としての提案については、何も述べられていません。農協が貸館業務を続けることに対して、市の積極的な取り組みの姿勢は示されていません。

②代替措置に関連して、新しい可能性として東海大学前駅連絡所の会議室、さらに宮永岳彦記念美術館のギャラリーが候補とされています。私たちは、これらの施設を見学しましたが、ギャラリーは美術の展示に特化した施設であり、東海大学前駅連絡所は、事実上、市の相談室と兼用で、いずれも一般の市民団体が利用できるようなものではありませんでした。

また、西公民館や末広ふれあいセンターの利用が勧められていますが、西公民館は利用者が多いため予約は難しく、末広ふれあいセンターは駅から遠いため、なでしこ会館の代替とは言い難いと思われ。また、市は曾屋ふれあい会館の1年後の廃止も予定しており、そうなれば、市民団体の活動の場はさらに狭められます。

③はだのこども館の一般市民による利用の可能性については、これまでの意見を反転させ、子供及び子育て支援以外の市民団体による利用は不可能との印象を与えるものでした。

以上のように、市長の回答は、なでしこ会館の廃止により、市民サークル及び各種の学習会、また企業による展示・セミナー等の会場が無くなるにもかかわらず、現状では、なんら新しい場所を提案するものでもなく、むしろはだのこども館に見られるように、一般の市民団体の使用を拒否するような内容でした。特に、企業の利用は、全く考慮されていません。

また、私たちはなでしこ会館の利用者から「会館の継続利用を求める」署名を集めました。使用団体の連絡先が特定できず（市は情報の提供を拒否）、困難でしたが、13団体から500名の署名を集め、昨年12月1日付けで市長に提出しています。この過程で明らかになったことは、なでしこ会館の特徴と重要性でした。なでしこ会館は地域の公民館とは大きく異なり、市内全域から、あるいは近隣の市から、バスや電車を使って参加する人が多いということです。また、特に交通の便利さから、企業のセミナーや展示・即売にも利用され、高く評価されています。

署名活動を通じ、なでしこ会館がまさに秦野市のシンボルとして機能してきたことを感じました。なでしこ会館のサービスを実質的に維持・強化

することは、市民活動のみならず、経済活動にとっても意義あることだと考えます。特に、市内で営業する企業などが企業活動の足場として使用していることは、駅周辺の活性化に資すると思われます。

陳情事項

- 1 秦野駅近くになでしこ会館の代替施設の設置の可能性を検討するとともに、当分の間、農協が貸館業務を継続できるよう協議・支援を行うこと。
- 2 はだのこども館を市民への貸室として利用できるよう検討すること。